

2019年度 国際学術研究助成決定一覧

(公財) 平和中島財団

1. 国際学術共同研究助成 (決定3件/応募45件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
新出キリシタン文献に関する緊急国際共同調査―「日ポ辞書」リオ・デ・ジャネイロ本を中心として (人)	豊島 正之 上智大学 文学部 教授 (6)	499.4
大陸間で発症頻度・重篤化が異なる先天性疾患の解明に向けた機能性哺乳類型心臓オルガノイド研究 (理)	竹内 純 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 准教授 (16)	500
高キャリア注入ナノコンポジット超伝導材料創製により対破壊電流密度 (限界) に挑む (工)	三浦 正志 成蹊大学 大学院 理工学研究科 教授 (4)	465

2. アジア地域重点学術研究助成 (決定21件/応募108件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
アルタイ山脈のユキヒョウと遊牧民の相互調和圏の確立に向けた複合型生物誌の研究 (人)	相馬 拓也 早稲田大学 高等研究所 講師 (4)	142.5
人口減少が経済社会へ及ぼす影響の日韓比較 (社)	福田 慎一 東京大学 大学院 経済学研究科 教授 (11)	150
ASEAN 諸国の国民皆保険制度整備に関するミクロ計量経済分析：持続的成長に向けた政策評価と提言 (社)	陣内 悠介 国際大学 大学院 国際関係学研究科 准教授 (6)	150
メガFTA・EPA 時代における農産物食料市場の国際的統合化と階層的セグメント化が越境的農業食料システムの形成と各国農業部門に与える影響の日・ベトナム・タイ共同比較研究 (社)	磯田 宏 九州大学 大学院 農学研究科 教授 (5)	150
バングラデッシュの医薬品産業の発展の要因と今後の見通し (社)	三森 八重子 大阪大学 高等教育・入試研究開発 センター 教授 (5)	150
東アジア地域における食品リスクの評価及び規制手法に関する国際共同研究 (社)	下山 憲治 一橋大学 大学院 法学研究科 教授 (8)	150
東アジア地域における原子力分野の住民参加制度に関する比較法研究 (社)	田中 良弘 新潟大学 法学部 准教授 (6)	149.2
タイにおける 40-m 電波望遠鏡の立上げ・性能評価と、初期運用を通じた電波天文学の普及 (理)	杉山 孝一郎 自然科学研究機構 国立天文台 水沢VLBI観測所 特任研究員 (6)	150
ミャンマー・カイン州におけるシロテテナガザル孤立集団の保全に関する生態学的・遺伝学的調査 (理)	石田 貴文 東京大学 大学院 理学系研究科 教授 (6)	150

研 究 課 題	研究代表者（参加者）	助成額(万円)
モンゴル・ゴビ砂漠での環境 RNA 解析法の確立を目的とした可搬性実験環境（ポータブルラボ）の開発（理）	ガリポン ジョゼフィーヌ 慶應義塾大学 先端生命科学研究所 特任助教（2）	150
アルファ化米粉をアジアへ展開するためのグルテンフリー食品の開発（工）	西岡 昭博 山形大学 大学院 有機材料システム研究科 教授（5）	150
プラズマフィルターシステムによる東アジア大気環境中 PM2.5 除去技術の開発（工）	大久保 雅章 大阪府立大学 大学院 工学研究科 教授（3）	150
建設材料で使用される鋼材の腐食抑制のための酸素低減材・好気性微生物の探索（工）	河合 慶有 愛媛大学 大学院 理工学研究科 准教授（6）	150
東アジア温帯寒冷地森林土壌からの温室効果ガスの放出に及ぼす凍結と溶解の影響（農）	程 為国 山形大学 農学部 教授（2）	150
ミャンマー伝統医薬による日光浴依存症治療を見据えた皮膚紫外線曝露誘発β-エンドルフィンの制御（農）	仁科 淳良 日本大学 理工学部 教授（5）	147.8
アフガニスタンにおける人獣共通感染症のブルセラ病およびQ熱に関する実態調査（農）	平井 卓哉 宮崎大学 農学部 准教授（9）	150
モンゴル国産薬用植物資源の家畜トリパノソーマ病治療への活用：自立的家畜感染症対策モデルの確立（農）	菅沼 啓輔 帯広畜産大学グローバルアグロ メディシン研究センター 助教（9）	150
ベトナムで発生する新規イネ病害の防除法の研究（農）	岡崎 伸 東京農工大学 大学院 農学研究院 准教授（4）	150
スリランカに急増する原因不明慢性腎臓病（CKDu）の原因究明（保）	森松 組子 北海道大学 大学院 医学研究院 准教授（6）	150
バングラデシュにおける規格外及び偽造医薬品の流通状況の評価研究（保）	吉田 直子 金沢大学 医薬保健学域 助教（6）	148.6
ブータン王国における強病原性ピロリ菌の特定（保）	山岡 吉生 大分大学 医学部 教授（7）	150